三原GIGA　レボリューション（サードステージ）

令和5年4月

『すべての児童生徒が、ＩＣＴ端末の活用場面や活用方法を自ら考え、選択し、活用できる』

目指す授業の姿

すべての子供が自ら考え行動する学び
～子供同士の学び合いの充実～





子供同士の学び合い型の授業

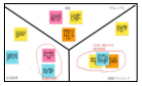
- ○価値ある問いにつなげる発問
- ○ねらいとする発言が出ているか傾聴
- ○児童生徒同士で対話
- ○対話を深めるための発問

具体的な子供の姿

考えをドキュメントやジャムボードで交流する。



多様な意見を整理したり，分析したりする。



協働で製作する。



プレゼンテーションを行う（表現活動）。



振り返りで，お互いの気づきや学びを共有するする。



具体的な教師の姿

ステップ1（教師）「ICT端末を教具として活用」代替により，時間の確保

ステップ2「主体的な学びにつながる活用」

ステップ3「対話的な学びにつながる活用」

ステップ4「ICT端末の活用場面や活用方法を児童生徒が自ら考え，選択する」

教師の活用

児　童　生　徒　の　活　用

・資料（情報）の提示により，興味・関心の喚起） ・指導者用デジタル教科書の活用 ・ジャムボードの活用 ・ミライシードの活用	・インターネット等を活用して調べ学習を行う。 ・自らの考えを形成する。 ・自らの考えを表現する。 ・自らの学習を振り返る。 ・何度も挑戦する。	・協働で意見整理（交流，比較，整理・分析）を行う。 **【ジャムボード，思考ツール】** ・協働で制作する。（制作物，まとめ） **【ドキュメント・スライド】** ・プレゼンテーションを行う。（表現活動） **【スライド，meet】** ・振り返りで、お互いの気づきや学びを共有する。 **【ドライブ，フォーム，スプレッドシート】**	・子供が活用場面に応じて，様々なツールを活用する。 ・子供の活用方法や活動場面を評価し，改善する。

ICT巡回相談員の活用

基礎研修の実施 （学校の要望に合わせたテーマでの研修， クロームブックの操作，Googleworkspaceの基礎）	授業支援 （習熟度に合わせたベストプランの提供， 自信がつくまでそばで支援，機器のサポート支援）	教科別・学年別研修の実施 （好事例の水平展開，教材の共同作成等 長期休暇等に教科別・学年別の事例研修の実施）	学校間ネットワークの構築 （好事例展開，共有ドライブの充実 授業交流支援）

市教委主催の研修等

一人一台端末の活用研修 （基本操作編4月，授業活用編8月）	情報教育担当教員研修（年3回） 5月・7月・12月	指導主事による研修の実施 通年